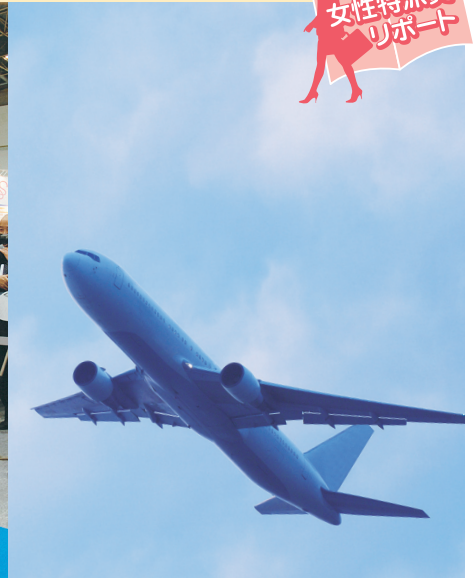


「産業大県いばらき」が進行中!

いばらき

女性特派員
レポート



豊かな農林水産物 (写真は八千代町のメロン畑)

最先端の科学技術 (いばらき産業大県フェア2006)

新たな広域交通基盤となる茨城空港 (写真はイメージ)

競争力にあふれ、これからの日本を産業面でリードするために、県では、「産業大県」づくりを推進しています。最先端の科学技術や日本有数のものづくり技術、豊富な農林水産物、そして整備が進む高速道路や茨城空港などの広域交通基盤などを生かし、新産業の創出や商工業の育成、企業立地などを進めることで雇用の場を確保するとともに、元気ある農業の実現を目指しています。そんな中、今回、企業立地の現状と茨城空港の進捗状況をレポートします。



特派員：青木 牧子

茨城県への産業立地を 推進しています

本県の工場立地面積は、過去十年間で全国一位です。平成十九年上半年の立地面積は全国二位となり、また、平成十七年度の製造品出荷額は全国九位、農業産出額は全国三位となっており、県全体の産業の割合も非常にバランスが取れています。

また、つくばエクスプレスの開業、三本の高速道路、四つの重要港湾、そして空の玄関「茨城空港」の整備など、陸・海・空の広域交通ネットワークの整備も進んでいます。

このように「産業大県」を目指す本県は企業からの注目が集まっています。そこで、平成十八年度から企業誘致とポートセールス（港湾の航路開拓、荷主開拓）業務を行う「茨城県産業立地推進東京本部」を設置し、積極的に産業立地を推進しています。

立地企業が感じている本県の魅力には、平坦な地形、温暖な気候、少ない自然災害などがあります。こうした有利な条件に加え立地に伴う支援制度も充実しており、平成十五年度から工場・事務所の新増設に伴う法人事業税や不動産取得税の県税の免除を実施し、三十二市町村でも固定資産税の減免措置を行っています。

〈立地企業訪問〉

県産業立地推進東京本部と（財）茨城県開発公社の仲介で、「東筑波新治

工業団地」に新工場建設が決定した（株）フルヤ金属つくば工場（筑西市）を取材しました。同社は、工業用貴金属（プラチナ・金・銀など）製品を製造しています。これらの貴金属は、携帯電話、DVDなどの記録媒体、医療検査機器といったあらゆる科学分野で多く使われています。以前から筑波研究学園都市で技術アドバースを受け研究を進めていたので、程近い下館第一工業団地に今のつくば工場を建設されたそうです。「つくば工場が手狭になったため、全国各地で新工場候補地を検討しました。新工場を土浦に決めた理由は、なんととっても大きな地震がないこと、そして工場間の交流も取りやすいこと。また、筑波研究学園都市から優秀な人材が確保できることからです」と、島崎工場長さんは話していました。

茨城県はこれからも、全国の注目度ナンバー1の企業立地を目指していきます。



(株)フルヤ金属 島崎工場長(右)

着々と整備が進む 空の玄関口「茨城空港」



「産業大県」づくりに欠かせない陸・海・空の広域交通ネットワーク。その空の玄関口となるのが「茨城空港」です。昨年から新滑走路の整備も始まり、平成二十二年三月の開港に向けて着々と整備が進んでいます。

また、空港アクセスが便利になるように、北関東自動車道・東関東自動車道の高速道路の開通も期待されています。これらの整備が進むと、県内各地から約一時間で空港に到着できるようになり、羽田空港に行く場合に比べて、電車の乗り換えや渋滞がなくなり、大幅な時間短縮が可能です。また、自家用車で利用しやすいように、約千三百台の無料駐車場が完備されます。長期旅行にも対応できる駐車場は、旅行者にもビジ

ネス利用者にも心強い味方です。ターミナルビルは、設計時からコスト面に配慮するなどして航空会社が就航しやすい環境を整え、シンプルでコストを抑えた空港づくりが進められています。

現在、北海道や沖縄などの国内定期便や、韓国や台湾を中心とする近隣アジアなどの国際線の就航を目指し、地元経済界と一体となったセールス活動が行われています。空港に隣接する「茨城空港テクノパーク」には、地域の活性化につながるような企業を誘致することで、現地雇用も促進します。また、周辺地区の特性を生かした公園も整備される予定です。利用者ばかりでなく、住民にも見学に訪れる人にも快適な空間となりそうです。

私たちの期待と夢を乗せて、素敵な空の旅を演出する「茨城空港」。

ねりんピックを 振り返って 「ダンススポーツ」

昨年11月10日(土)から13日(火)まで茨城県で開催されました。



ダンススポーツは社交ダンスを競技化したもので、スタンダードの部とラテンの部があります。飛田さんご夫妻は、牛久市を会場に開催されたねりんピックのダンススポーツ交流大会に出場され、茨城県Aチームとして団体戦3位、ラテンの部(チャチャチャ・ルンバ)では個人戦5位と好成績を収められました。「仲間の応援がパワーとなり、楽しく競技に望むことができた」とのことです。

私も早速ダンスを体験することに。手の指先から足の指先まで神経を集中、ターンをして、はいポーズ!数秒の動作の中でダンスもスポーツなんだなと実感しました。ねりんピックを終えたばかりのご夫妻ですが、また新たな大会へのチャレンジが始まっていました。(小野洋子)



ねりんピック茨城2007実行委員会事務局
029(301)3338

地方空港としての役割ばかりでなく、首都圏の新しい玄関口として今後も注目していきたいと思えます。

●主要都市からのアクセス時間など(片道)

主要都市から	茨城空港へは	羽田空港利用の場合	
水戸市	約30分	約150分	120分短縮
日立市	約55分	約175分	120分短縮
筑西市	約55分	約165分	110分短縮
つくば市	約45分	約115分	70分短縮
鹿嶋市	約60分	約90分	30分短縮

注)・羽田空港へのアクセスは電車(特急線在来線)利用想定
・茨城空港へのアクセスは車(高速道路)利用想定
・市役所を出発地点

地域資源活用 プログラムの利用案内

農林水産物・産地技術・観光資源といった各地域の「強み」である地域産業資源を活用した新商品・新サービスの開発や市場化などの取り組みを総合的に支援する新しい制度「地域資源活用プログラム」が始まりました。

このプログラムでは、中小企業や組合の皆さまの地域産業資源を活用した事業計画について、国からの認定を受けることにより、左記の支援メニューをご活用いただくことが可能となります。

- 補助金(補助率は三分の二)
 - 政府系金融機関の低利融資
 - 信用保証枠の拡大
 - 設備投資減税
- など

現在、マーケティングやビジネスプランの専門家などが無料で相談・サポートを行っておりますので、新たなビジネスのアイデアをお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

県産業政策課

029(900)6100

029(900)6100

<http://i-net21.smr.go.jp/expand/shigen/index.html>